



理系女子と科学倫理を考える日

第5回 International Girls' Expo with Science Ethics

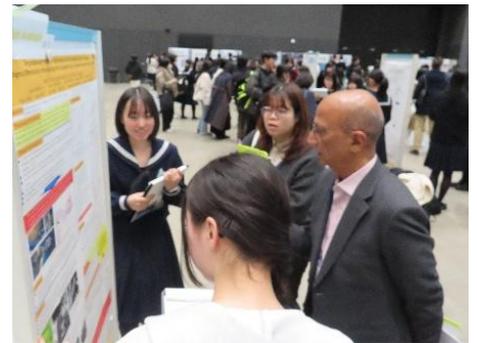
本校主催のスーパーサイエンスハイスクール事業として、2026年2月7日土曜日に、姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」で第5回 International Girls' Expo with Science Ethicsを開催しました。今年度は 上川内 あづさ 氏(名古屋大学大学院 理学研究科 教授)に「音でつながる昆虫たち 聴覚コミュニケーションの不思議と研究者の道」の基調講演を行っていただきました。

「Girls' Expo」として、理系女子の育成の推進を目的に、女子を中心とした課題研究の発表を行いました。また、「Science Ethics」として、科学倫理教育に対する理解を深めるために、科学倫理に関する課題研究の成果発表も行いました。今年度は、「International」も加えて、様々な国の研究者の方もお招きし交流を行いました。

当日は兵庫県内外の小・中学生、高校生や女性研究者、大学・企業関係者、専門家など、あわせて約1000名が参加しました。



午前	午後
<p>●基調講演 「音でつながる昆虫たち 聴覚コミュニケーションの不思議と研究者の道」 講師：上川内 あづさ 氏 (名古屋大学大学院 理学研究科 教授)</p> <p>●口頭発表 6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路西高等学校 ・ノートルダム清心学園清心女子高等学校 ・姫路東高等学校(自然科学) ・姫路東高等学校(科学倫理)2件 ・姫路東高等学校 科学部 	<p>●高校生と小・中学生のポスター発表 高校生による口頭発表(自然科学、科学倫理) 姫路城学発表ブース 女性研究者によるポスター発表 大学・企業ブース サイエンスカフェ</p> <p>●保護者のための講演会 「『着眼大局 着手小局』-百尺の竿頭さらに一步を進む-」 講師：丸山 マサ美 氏 (九州大学大学院医学研究院保健学部門 講師)</p>



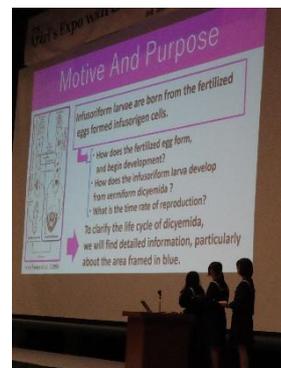
●基調講演

上川内 あづさ 氏(名古屋大学大学院 理学研究科 教授) をお招きし、「音でつながる昆虫たち 聴覚コミュニケーションの不思議と研究者の道」という演題でご講演いただきました。身近な昆虫を研究対象にされているご自身の経験から、研究の大変さとそれ以上の魅力や楽しさをお話いただきました



●高校生による口頭発表

午前中には6件、午後には3つのブースで14件(自然科学、科学倫理、姫路城学)の発表がありました。質疑応答では専門家の方や高校生から多くの質問があり、活発な議論をすることができました。本校科学部生物系研究部は今年度の県総文で最優秀賞を受賞した「ニハイチュウの生活環の解明に向けて」について英語で発表しました。



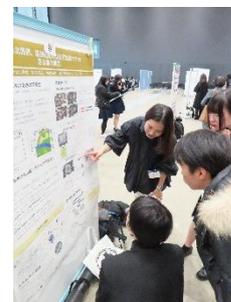
●高校生と小・中学生のポスター発表

高校生や小・中学生が、自然科学をテーマとした課題研究の発表を行いました。姫路東高校も、選抜班が自然科学や科学倫理をテーマとした課題研究の発表を行いました。聴講者に合わせて英語での発表を行う班もありました。どの発表も質疑応答で盛り上がり、活発な議論が行われていました。



●女性研究者によるポスター発表

大学生や大学院生、大学の研究者の方11名がご自身の研究について説明してくださいました。専門的な内容を高校生にもわかるように説明くださり、多くの生徒が集まり、聴講しました。



●サイエンス・カフェ、大学・企業ブース

サイエンスカフェでは、日ごろの研究や大学生活などについて相談する等、8名の大学生との会話を楽しみました。また、各大学や企業のブースでは、展示や体験を通して、大学や企業の取組について知ることでもできました。



●保護者対象の講演会

丸山 マサ美 氏(九州大学大学院医学研究院保健学部門 講師) を講師としてお招きし、『『着眼大局 着手小局』 -百尺の竿頭さらに一步を進む-』という演題でご講演いただきました。

